

競 技 注 意 事 項

1. 本大会は、2020年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会規定によって競技を行う。
2. 招集は、トラック種目は雨天練習場、フィールド種目は、現地で行う。
招集開始時刻に競技者係・各種目の競技役員の点呼を受け、アスリートビブス、腰ナンバー、スパイクシューズの点検を受ける。
(注) 2種目に引き続いて出場する場合などで、次の種目の招集点呼を受けられない場合は、第1出場種目の招集開始時刻までに競技者係に多種目同時出場届を提出して確認してもらい、指示を受けること。
点呼を受けない者は、棄権するものとみなし出場を認めない。
3. 下記の種目は、予選をタイムレースで行い、記録上位8名をA決勝(1~8位を決定)、下位8名をB決勝(9~16位を決定)として行う。(B組→A組の順でレースを行い、得点はA組の順位を対校得点とする)
(男子) 100m 200m 400m 800m 400mH
(女子) 100m 200m 400m 100mH

4. リレーのオーダー用紙の提出は、次の通りとする。

	提出先	提出時間・その他	
予選	競技者係	4×100m	予選は当日朝9:00までに提出する
		4×400m	予選は前日14:00~15:00までに提出する。 それ以降変更のある場合は当日の朝8:30までに再提出すること。
決勝	競技者係	招集完了時刻の2時間前~1時間前までに提出すること。	

5. プログラム記載の氏名、アスリートビブス(ナンバー)等に誤りがあれば、大会総務に申し出ること。
6. アスリートビブスは、胸部・背部にしっかりとつける。(招集時に点検する。)
ただし、跳躍競技に参加する競技者は胸部・背部のいずれかでも良い。
7. 腰ナンバーは、各自がプログラム記載のレーン番号と同様のものを右腰やや後方につける。
四隅をしっかりと固定すること。
1500m、3000mSCの出場者には腰ナンバーを、5000m、3000m、5000mWの出場者には別ナンバー、腰ナンバーを渡す。
それ以外の種目の出場者にはついては、各校で腰ナンバーを用意すること。
8. やりは、各自持参の物を検査を受けて使用しても良い。検査はフィニッシュ側の用器具庫で行う。
検査時間： 男女やり投 招集完了40分前から20分間 男子8:05~8:25 女子12:20~12:40
混成やり投 競技開始の40分前から10分間 男子10:20~10:30 女子11:50~12:00
9. 競技場は、全天候性であるので9mm以下の全天候性のスパイクピンを使用すること。
(走高跳、やり投げは12mm以下)
10. 走高跳のバーの上げ方は、次の通りとする。(天候等、審判員の判断で変更することがある。)

	練習	1	2	3	4	5	6	
男走高跳	1.45	1.50	1.55	1.60	1.65	1.70	1.75	1m75以降3cmきざみ
女走高跳	1.20	1.25	1.30	1.35	1.40	1.45	1.48	1m45以降3cmきざみ
男棒高跳	2.20	2.40	2.60	2.80	3.00	3.10	3.20	3m00以降10cmきざみ
女棒高跳	1.50	1.70	1.90	2.00	2.10	2.20	2.30	1m90以降10cmきざみ
八種走高跳	1.30	1.35	1.40	1.45	1.50	1.55	1.60	1m60以降3cmきざみ
七種走高跳	1.10	1.15	1.20	1.25	1.30	1.35	1.40	1m40以降3cmきざみ

11. 男子5000m・女子3000m・男女5000mWはグループスタートで行う。
12. 競技運営の都合上、5000m、3000mSC、5000mW、女3000m、女5000mWは著しく遅れた者は競技を中止してもらう場合がある。また、時間制限として5000mでは20分、3000mSCでは13分、5000mWでは40分、女子3000mでは13分、女子5000mWでは40分を目安とする。
13. ウォーミングアップについては、2日間ともにサブトラックで行うこと。ただし、芝生への立入は禁止する。
14. その他
 - 1) 補助員については、各校2名を出すこと。1階ロビーに集合し、指示を受けてから任務へつくこと。
 - 2) 各自の荷物は、盗難にあわないよう各自で注意すること。